

読売 KODOMO 新聞 出前授業

児童 新聞作り学ぶ

名古屋 出前授業 祝儀袋作りも

オリジナル新聞を作る「第2回読売わたしのKODOMO・中高生新聞コンクール」(県教委など後援、読売新聞中部支社など協力)の応募に向けた出前授業が10日、名古屋市北区の市立如意小学校で行われた。

新聞コンクール応募へ

5年生計約50人が参加した授業の前半は、コンクールに協賛する紙製品製造会社「マルアイ」の久保田夕紀さんが祝儀袋について説明した。

斗は長寿の象徴とされるアワビを表し、水引は縁結びの意味があることを紹介。裏面の下は受けるようにして折り、逆にすると不祝儀になってしまふことなどの注意点を解説し、実際に祝

儀袋作りにも挑戦した。

後半は、読売新聞グループ本社の末吉光太郎社長室次長が新聞作りのポイントを解説した。児童は「記事は重要なことから順番に書く」「文章は短めにすると読みやすい」「しっかりと調べ、曖昧なことは書かない」などの説明に耳を傾け、メモを取っていた。児童は新聞は正確な情報しか載せていないことがわかった。写真やイラストを使って分かりやすい新聞を作ってみようなど話していた。



祝儀袋づくりに挑戦する児童ら
(名古屋市北区の市立如意小で)